

学校だより 北 陵

川西市立北陵小学校
校長 齋木 久雄

新年あけましておめでとうございます。

本日、3学期の始業式を行いました。旧年中は、本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

また、既にご承知の通り、給食の開始日が1月10日から1月22日まで（実質8日間）に延期になった事に伴い、保護者の皆様方には、大変ご迷惑をお掛け致しますがご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。

以下に、本日の始業式での校長講話の概略を紹介します。

皆さん、おはようございます。14日間の冬休みが終わりましたが、皆さんは、この冬休みを振り返ってどうでしたか？楽しむ時と頑張る時のけじめをつけて、有意義な14日間を過ごせたでしょうか？

さて、今日から3学期がスタートしましたが、皆さんも知っているように、給食室の工事の関係で給食の開始日が1月22日に延期になり、明日から1月19日の金曜日までは、お弁当を持って来てもらう事になりました。お家の人にとって、朝の忙しい時間帯に皆さんのお弁当を作るのは本当に大変な事で、申し訳なく思います。そこで、皆さんにお願いがあります。それは、お弁当を作って下さったお家の人に「ありがとう」の感謝の言葉（気持ち）を伝えて欲しいという事です。また、可能な範囲でお弁当を作るお手伝いをして欲しいと思います。

例えば、「早起きして、お家の人がお弁当を作るのを見る」、「お家の人と一緒にお弁当の材料を買いに行く」等の段階から、「できたおかずをお弁当箱に詰める」、「お米をといでご飯を炊く」、「実際に包丁を使って材料を切る」、「簡単なおかずを1品作る」、「おにぎりと簡単なおかずで自分だけでお弁当を作る」等の色々なレベルがあると思いますが、お家の人とよく相談して、ぜひ自分ができるお手伝いをして下さい。そして、家に帰ったら「ありがとう・美味しかったよ・ごちそう様でした」の感謝の言葉（気持ち）と共に、ぜひ自分のお弁当箱は自分で洗って欲しいと思います。

次に、新年のスタートにあたり、先生が読んだ植松努さんが書かれた「どうせ無理」と思っている君へ>という本の一部を紹介します。植松さんは、「どうせ無理」という呪文に負けないで、北海道の社員20人という小さな町工場で宇宙ロケットや人工衛星を作られた方です。

序章「君は自信を持って生まれてきた」の「歩くことをあきらめる赤ちゃんはいない」では、君はたぶん、恥ずかしがり屋だと思います。僕もそうだったから、そんな気がするのです。恥ずかしがり屋だから、失敗をすると、「かっこ悪い」と思う。みんなが見ている前で、間違え

たり、転んだり、チャレンジしてうまくいかなかったりしたら、恥ずかしくて、みつともなくて、悲しくて、一生ベットにもぐりこんでいたくなる。たぶん、そんな感じだと思います。

だけどそれって、いつからでしょう？ ハイハイを卒業して、つかまり立ちを始めた赤ちゃんは、自分の意思で歩こうとします。当然だけれど、うまく歩けない。よちよちと一歩踏み出したとたん、転びます。これは明らかな失敗です。健康な人なら誰でもできる「歩く」という動作が、まともにできないのですから。でも、赤ちゃんは転んだ自分を、「かつこ悪い」と恥ずかしがったりしません。「どうせ自分には才能がない」とがっかりしたりもしません。「歩くのは向いてないから、やめよう」とあきらめたりもしません。

頭からどてつと派手に転んだ赤ちゃんも立ち上がり、何度でも歩こうとするのです。これが僕たちの本来の姿です。君のももとの姿です。君は、自信を持って生まれてきた。歩く、しゃべる、ものを食べる、笑いかける。赤ちゃんにとって「はじめてのこと」は無数にあります。

でも赤ちゃんは、そのすべてに挑戦し、そのすべてに失敗し、それでも成功するまでなんども挑戦します。なぜならば、失敗は恥ずかしくないから。なぜならば、「できる」と自分を信用しているから。なぜならば、自信があるから。君もかつては、そんな赤ちゃんでした。そう、君はしっかりと自信を持って生まれてきたのです。

君は、「意思の力」を持って生まれてきた。「これをしたい」と自分で思ってチャレンジし、失敗し、それでも何度もチャレンジする。そうやってチャレンジを繰り返して、いろいろなことができるようになっていく。いろいろなことをやる最初の一步は、自分で「これをしたい」と思うことだと僕は思います。つまり自分の意思です。すべては「やりたい」という君の気持ちで始まるのです。と書かれています。

どうですか皆さん。当然、植松さんは「したい事だけをして、したくない事はしなくても良い」と言われているわけではありません。皆さんは、本当に多くの可能性を持って生まれて来ました。失敗を恐れて何もしないのではなく、これからも自分の可能性を信じて、いろんな事にチャレンジして欲しいと思います。

<お知らせとお願い>

冒頭でもお願いした通り、保護者の皆様方には、明日（10日）から19日までの実質8日間、お子様のお弁当を作って頂くこととなりますが、本日の始業式の校長講話の中で、お弁当を作って下さるお家の人に対しての感謝の言葉（気持ち）と共に、可能な範囲でお手伝いをするように伝えています。お忙しい中でお手間を取らせて本当に申し訳ありませんが、お子様とよく相談して頂いて、ぜひお子様にお弁当を作るお手伝いをさせて下さいますようお願い致します。

また、昨年末にPTAからのお手紙でお伝えしている通り、来る2月16日（金）の15：30～「PとTの語る会」が予定されています。今年度は、ご要望により校長がお話しをさせて頂くことになりました。話の内容は、「保護者の皆様にお伝えしたい事」として、私が今までの教師生活での体験から学んだ事を中心にお話をさせて頂きたいと考えています。拙い内容の話になると思いますが、出来るだけ多くの保護者の皆様方にお聞き頂きたいと思います。申し込みの締め切りが1月11日（木）になっておりますので宜しくお願い致します。